

[軽吐]ハラヴェン(エリブリン)療法

外科: 管理番号 D436

処方医

適応: 乳がん

3週を1サイクルとし投与をくりかえす

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
ハラヴェン	●							●														●							

次サイクルへ

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ サイクル目)

DAY 1(月 日) DAY8(月 日)

薬剤名	投与量	
生食100mL	1瓶	30分本管
デキサート	6.6mg	
生食50mL	30mL	5分本管
ハラヴェン1.4mg/m ²		
生食20mL	1管	ルート内溶液をフラッシュ

生食30mLにハラヴェンを混合

[投与開始基準]

- 高度な骨髄抑制がない
- ハラヴェンの成分に過敏症がない
- 妊婦または妊娠している可能性がない
- 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

[DLF]

ハラヴェン: 好中球減少、
発熱性好中球減少症

血液一般検査	Neut (/μL)	2000以上
	PLT (/μL)	7.5万以上
	GOT (IU/L)	100以下
	GPT (IU/L)	100以下
	TBIL (mg/dL)	2以下

	各サイクル1週目	各サイクル2週目
投与開始基準 * 1	下記の基準を満たさない場合、投与を延期 好中球数 ≥ 1000 血小板数 ≥ 75000 非血液毒性 ≤ Grade2	
投与再開基準	上記まで回復した場合、 投与を開始	投与延期後1週間以内で上記 まで回復した場合、減量 * 2し て再開
休薬基準	—	投与延期後1週間以内で上記 まで回復しない場合、休薬

* 1 前サイクル2週目で減量した場合、1週目の投与は前サイクル2週目の投与から2週間以上
間隔があいていることを確認

* 2 減量の目安

減量前の投与量 ⇒ 減量後の投与量
1.4mg/m ² ⇒ 1.1mg/m ²
1.1mg/m ² ⇒ 0.7mg/m ²
0.7mg/m ² ⇒ 投与中止を考慮

[今回の投与量] _____ mg [累積投与量] _____ mg
 [今回の投与量] _____ mg [累積投与量] _____ mg

減量基準

- 前サイクルで以下が発現した場合、減量 * 2して投与してください
- 7日間を超えて継続する好中球数減少 (<500)
 - 発熱または感染を伴う好中球数減少 (<1000)
 - 血小板数減少 (<25000)
 - 輸血を要する血小板数減少 (<50000)
 - Grade3以上の非血液毒性
 - 副作用などにより2週目に休薬

[重大な副作用]

- ・骨髄抑制
- ・感染症
- ・末梢神経障害(末梢性ニューロパチー)
- ・肝機能障害

・間質性肺炎